



ごあいさつ

熊本県知事
寺本 広作

新しい年を迎えることは心たのしいものでございます。若水で心身を清め、家族揃ってお屠蘇をいただき、新年の希望と抱負を語りあう。これは古くからの習慣のようで、そこには家族を中心とした精神的風土が生きている気がいたします。

ところで熊本県全体のことを考えてみますと、どうしても「新産都市」の建設基本計画の強力な実現を期すことが今年の希望でなければならぬと思うのであります。しかし希望と抱負が大きければ大きいほど、苦難はつきものである、県はもとより、各市町村でも相当な決意を必要とすることというまでもありません。

きびしさの果てに夢みる！お正月のたのしいだんらんのなかにも、どうかこのことを心深くきざみこまれて、よき年の出発とされ、ますよう祈ってやみません。

昭和四十年元旦

新・春・随・想

△目次▽

- 竹下三新・堀川喜八郎・川本洲子
- 田中典次・山口白陽・松井閑花
- 大宮二郎・宗 弘容・高橋重博

年頭座談会

新しい熊本一九六五年

村田 幹雄・川端 脩 △司会▽大井 健司

海にかける橋

―姿をみせる天草架橋―

第一線の人びと

―沿岸漁業改良普及員の活動―

グラビヤ

△特集▽

★郷土の空を飛ぶ

★第一線の人びと

★天草のハマチと車エビ

★バックミラー―△県政ハイライト▽

★センター・カラー(阿蘇)

★表紙写真(熊本城天守閣)

初春の空には、城と鳩がよくあう。火の国の空は澄んで蒼く、みやびやかな天守閣のイラカがひときわ日本的な風格をそえて映し、そして美しい。